



はつらつ

発行 令和5年2月1日
発行者 公益社団法人涌谷町シルバー人材センター
〒987-0121
宮城県遠田郡涌谷町涌谷字新下町浦 188
電話 0229-44-1710
FAX 0229-43-2977
メール wakuya@sjc.ne.jp
HP <http://webc.sjc.ne.jp/wakuya>

謹賀新年

冬に咲く幻の桜 (今年はコロナ収束するぞ) (写真：役場企画財政課提供)

シルバー涌谷 はつらつ 第29号 目次

理事長の新年挨拶／令和4年度上期の事業実績	2
涌谷町長及び町議会議長の新年挨拶／今年の年男・年女	3
お客様の声	4
会員の広場	5
会員の声	6
シルバー人材センターとは	7
安全適正就労委員会便り、事務局からのお知らせ (新会員紹介)	8

新年のご挨拶

働く高齢者の拠点

〜守り育て次世代へ



理事長
三塚 尚登

明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年もコロナ禍で明け暮れた一年となりました。私たちが大切にしてきた会員が集まっていたの行事も出来ない中、業績も苦戦を強いられるなど残念で物足りない一年となったものの、会員は元気に働き大きな事故もなく無事に一年を終えることができました。これも偏に浦谷町をはじめ町民皆様のご支援とご愛顧の賜物と心よりお礼申し上げます。さて、超高齢化・人口減少社会が進行する中で、地域社会の活力を保つためには元気な高齢者の活躍が欠かせません。シルバー人材センターは働く高齢者の拠点としての役割が期待されており、一方会員の状況は新規加入が減り、年齢が上がり後継者の不

足が目立ってきました。そして地域社会の要請やお客様のニーズに応えるためにも、新規会員の加入促進と後継者の育成が喫緊の課題です。私達は多くの高齢者の方々が仲間に加わり、会員、役員にはお客様の笑顔と糧として、地域から信頼されるセンターを目指して参ります。年頭にあたり浦谷町を始め、関係機関の皆様には幸多かれとご祈念申し上げます。本年も変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



令和4年度実績

上期は前年度を下回り 下期も前年度を下回る実績で推移

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大や夏の異常気象（猛暑等）で、大変厳しい状況にあります。新型コロナウイルス感染症拡大予防に努めつつ、受注した業務を完全に消化出来る様な組織体制の充実強化を図って参ります。

さて、今年度上期（4～9月）の事業状況は、前年度の実績を下回る結果となりました。事業実績の各指標では、事業収入に当たる契約金額の合計

は3,589万円となり、前年同期比94%（金額で426万円減少）。また、予算（目標）に対して96%の実績となりました。一方、受注件数は923件と前年に比べ9件の減少でした。次に、就業実績を表す就業延べ人数は、5,643人（前年同期（6,024人）就業率は60%（同65%）になりました。契約金額の発注者別比率では公共事業16%、一般企業25%、家庭・個人59%となっており、前年同期に比べて公

共事業は4ポイント増加、一般企業は1ポイント、家庭・個人は3ポイントそれぞれ減少となりました。これは、コロナ禍での町行事の中止や企業の契約控えの影響によるものです。一方、8月の猛暑や高齢化に伴う剪定作業・草刈り作業の減少があるものの、家庭・個人の仕事は、相変わらず全体の過半数を占め、当センターの特徴が出ています。

下期も前年度を下回る傾向で 推移し、通期で前年度を下回る見通し

さて、今年度下期も4ヶ月が経過しましたが相変わらず受注は増えず、低調に推移しています。従って、今年度通期トータルの実績は、前年度を下回るものと予想されます。

謹賀新年



【センター役員】

理事長 三塚 尚登
副理事長 男 澤 孝子
専務理事 平 塚 盛茂
理事 加 藤 義 則

監事
" " " " " " " "
大 友 克 裕
大 友 信 一
三 塚 さ き
大 川 昌 秋
男 澤 好 文
川 崎 健 造
宮 内 建 次
大 内 敬 四 郎

【事務局】

事務局長 平 塚 盛茂
次 長 細 浦 恒 利
事務局長 浅 野 ゆかり
土 井 亮 快

二〇二三

新年のご挨拶



涌谷町長

遠藤 釈雄

あけましておめでとうございます。

皆様方にはご家族お揃いでお健やかに新年をお迎えることと心からお慶び申し上げます。また、町政の運営にあたり、日頃よりご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年新型コロナウイルス感染症の影響により様々制限がございましたが、夏まつり、秋の山唄全国大会が3年ぶりに、産業祭が4年ぶりに実施することが出来ました。コロナ禍はこれからも続くことが予想されますが、そのような中においても工夫を凝らし以前の日常を取り戻して参りたいと考えております。

今年は卯年でございます。うさぎは穏やかで温厚な性質から「家内安全」、またその跳躍する姿から「飛躍」、「向上」の象徴とされております。貴センターの益々の発展と皆様のご健勝をご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します



町議会議長

後藤 洋一

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃より涌谷町議会の運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

シルバー人材センターにおかれましては、高齢者の方々の新たな生きがいの発見と活力ある地域社会づくりに大いに貢献していただき、深く敬意を表します。

さて、特に地方において少子高齢化が進み労働人口が減少していく中、貴センターの役割は今後ますます重要であります。これからの涌谷町の活性化には、会員皆様方の豊富な経験と知識が必要となりますので、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴センターの更なるご隆盛と皆様方のご健康、ご活躍をお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



(昭和14年生れ) (昭和26年生れ)

福田勝見さん 佐久間幸一さん

三浦留吉さん 桜井晃さん

福泉 聡さん 志子田 恒雄さん

中澤 敬一さん 柴田 繁さん

(昭和26年生れ) 三塚 尚登さん

大友 信一さん

平すみ江さん 男澤 好文さん

五十嵐 ひろ子さん 齊藤 洋子さん

服部 一昭さん 松岡 明さん



笹岳1班 福泉 聡さん

『仲間が良いもんだ』

私は40年以上もの長い間、家と会社の行ったり来たりで仲間とのゆつくりした時間がありませんでした。退職後、友達の誘いもありシルバー人材センターに入会しましたが、仕事の合間のさもない世間話が楽しく84歳になっても続けています。

仕事は草刈りが主ですが、仲間とのコミュニケーションを大切に、無事故で皆さんに喜んで頂けるよう頑張ります。

お客さまの声

にっこり
インタビュー。
一寸聞かせて下さいー!



黄金区
鈴木幸枝様

「身も心もスッキリ！皆さんに感謝！」

私のところでは、家の周りの草取りや庭木の手入れを通じて年4〜5回と長いお付き合いで御座います。15年を超えましてでしょうか。

そんな関係から、「皆さん、作業手順も心得ておるようです！」

スッキリ、綺麗にして頂いています。作業終了後は、私自身『身も心もスッキリ！ニコニコ元気になります。』

シルバー人材センターの皆さんには、「本当に感謝」しております。

今年も又、お世話になると思いますが、しっかり健康管理をなされて、元氣でお仕事をしてくださいね。お会いする事を、楽しみに致しています。



小里区
小谷正彦様

「働くことで生きがいを見つけて」

我が家の庭には、樹齢八十年程の松が五本あります。以前は七・八本あり、父が丈夫な時に涌谷の親戚から馬車で運び、とても思い出のある木だと話しており、時間を見つけては手入れをしていました。

父が他界した後、私が六五歳頃までは自己流で剪定をしていましたが、形が整わず難しいため、六年前から依頼するようになりました。松以外は自分で手入れをしています。

シルバー人材センターに依頼すると、数人で来て頂けるので一日で仕事が終わります。みんな真面目で、きれいな仕事をしてくれるのでとても助かります。

地域におけるシルバー人材への期待は、農業のみならず、さまざまな分野に亘っており、必要とされております。会員のみなさんには、これからも元氣で生きがいを持って働いていただきたいと思います。

これからもよろしくお願ひします。



岸ヶ森区
畑岡永耕様

「感謝のきもちいっぱい」

私の集落は農業で生計を立てている方が多いことから、昭和63年に「岸ヶ森生産組合」を設立し、平成27年に法人化しました。現在は集落の転作を主に請負しています。その為、個人の水稻の種まきや田植えは、作業時期が重なることからシルバー人材センターに依頼しています。

我が家の農作業について、以前は親戚の方々に手伝っていただいていたことが面積も多く労力が足りなくなってきたことからお願いするようになりました。

シルバー人材の方々には手に職を持った方が多く、5年前には自宅の屋根塗装やパイプハウスの撤去作業などお願いいたしました。依頼すると手際よく作業をこなしてくれてとても助かり、感謝の気持ちでいっぱいです。

シルバーの方々には地域から必要とされており、これからも豊富な経験を活かし、元氣で活躍されることを期待しております。

会員の広場

新型コロナウイルス感染症の 感染予防の徹底

様々な施設・場面・地域で「クラスター」が発生しています！

1 感染源を絶つ 2 感染経路を絶つ

3 抵抗力を高める

4 職場外でも 感染予防行動徹底



【消費税のインボイス制度について】

これまでの消費税の制度は、免税事業者である会員の皆さんにお支払いした配分金に含まれる消費税についても仕入控除が認められ、その分の消費税はセンターにも、会員さんにも納税の必要がありませんでした。しかし、令和5年10月にインボイス制度が導入されると、仕入控除を受けられるのは、インボイス（適格請求書）を発行できる課税事業者の分に限られます。

会員の皆さんは変わらず免税事業者ですから、インボイス（適格請求書）の発行ができないため、支払った配分金についてセンターは仕入税額控除を受けられなくなります。その分の消費税をシルバー人材センターが支払うこととなり、経営に多大な影響が出ることが予想されます。

会員の皆さんの配分金を減らすことなくセンターの経営を守るために、全国のシルバー人材センターが一丸となって、さまざまな方面に働きかけをしています。現在、導入後の影響を最低限に抑え、会員の皆さんが今後も安心して働き続けることが出来るよう、厚生労働省、全国シルバー人材センター事業協会等が対応を検討している状況です。

退任の挨拶 前理事長 藤村 千代志



シルバー人材センターは創設から携わり、平成18年の設立から理事長として16年間共に歩んできました。

この間、公益社団法人への移行やシルバー派遣事業への参入など変化に対応しながら成長することができました。

会員の仲間やお客様である多くの町民の皆様からの温かいご支援に支えられ大過なく終えることが出来ました。

会員の親睦旅行や10周年の記念事業、そして2度の台風による事務所の冠水被害などは忘れられない思い出となっています。お陰さまで豊かな人生になったと心より感謝をしております。

最後になりますが、シルバー人材センターの会員皆様のご活躍とシルバー人材センターの益々の発展を祈念申し上げます。



今年の推進大会表彰

『令和4年度 宮城県シルバー人材センター安全就業推進大会』

令和4年10月20日(木)に涌谷町シルバー人材センター会員、川口晴雄さんが安全就業貢献者として公益社団法人宮城県シルバー人材センター連合会理事長より表彰を受けました。また、当センターも模範として表彰されました。



会員の声



西2班(9の2区)
五十里 信夫さん

「我が人生航路」

気仙沼で生まれ育ち、遠洋マグロ船に一年中乗り南半球オーストラリア・ニュージーランドと南極近くで漁業をして来た。操縦長としての仕事も任され37年間船上生活を送った。時期により太陽が1ヶ月2〜3日しか顔を出さず殆ど曇りの天候状況だった。陸にあがるのは年に1ヶ月、その時は船の整備であった。病気になることもなく無事に終えられた。

涌谷町に縁があり結婚と同時に居住し50年になる。妻には大変寂しい思いをさせた。留守の間家庭を守ってくれたことに感謝している。

昨年4月にシルバー人材センターに入会しお世話になっていく。仲間を大切に助けられながら、剪定、草刈りの後片付けとお盆前のお墓掃除作業を行った。体を動かし働いているととても体調が良い。

今は家族6人、2人の孫に囲まれとても幸せであり常に、「和顔愛語」を心がけ家族に感謝しながら暮している。



西2班(10区)
遠藤 功記さん

「毎日を学び、楽しく」

これまで屋内の仕事をしてきましたので、青空の下で働く事は多くありませんでした。

以前からシルバー人材センターが町内にあることはしっておりました。時々、私も自宅での植木の剪定や刈り込み等をしておりましたので、定年後はもっと詳しく学びながら出来ることをしていきたいと思いい、入会いたしました。

シルバー人材センターに入会してから、三脚脚立の上り下りに汗を流しながら、シルバーの先輩方々に御指導を頂き日々楽しく過ごしております。

今後は、ご依頼様の信頼に応えられるように努力をし、健康に気を配りながら働けることに感謝し、体の続く限りガンバッテいこうと思えます。



西2班(9の2区)
三塚 さきさん

「仲間になって活動しましょう」

私は令和4年春に入会しました。シルバー人材センター就業内容は①屋内外の一般作業②技術を必要とする分野③サービスマン④事務分野⑤管理分野⑥運転業務の6項目があります。主として除草(草取り、草刈り)作業、農業サポート、墓地清掃、屋内外の清掃、庭木の剪定作業、伐採(軽微な内容)、襖、障子の張り替え、大工作業、板金作業等については主に男性会員が担っている状況です。

涌谷町内には多くの一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、障害をお持ちの方がいます。介護認定を受けている方であればホームヘルパー等の介護サービスを利用できますが、そこまでの状態でない方は、ゴミ出しや電球の交換などちょっとした手助けがあれば日常生活を送ることが出来ます。そのためにも(女性)会員の仲間を増やし、家事援助や調理補助等を担っていただけるようにしていかなければならないと考えます。

是非仲間(会員)になって一緒に活動しましょう。

シルバー人材センターとは

① 高齢者の就業による生きがいづくりを

1. 健康で意欲のある高齢者が、豊かな経験や能力を生かし、仕事をして、いきいきした人生を築けるようにすること。
2. 地域の高齢者が仕事を通じて積極的に社会参加し、家庭や地域に活力を生み出すことを目指しています。

② 法律に位置づけられた公共的・公益的団体

「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」で位置づけられた公益法人であり、営利を目的としていません。

③ 基本理念は「自主・自立、共働・共助」

「自主・自立、共働・共助」を基本理念に、高齢者が地域を単位に自主的に連帯して、共に働き、共に助け合っていくことを目指す団体です。

④ シルバー人材センターのしくみ



私達と楽しく働いてみませんか シルバー人材センターでは **会員を募集しています!!**

すべての就労を保障するものではありませんが、センターからの紹介で、請負とセンター派遣の就労が可能で、多くの会員が元気に働き、充実の日々を送っています。

- 涌谷町に居住し、健康で働く意欲のある、おおむね60歳以上の方
- シルバー人材センターの事業理念に賛同していただける方
- 年会費は3,000円です

詳細は、下記TELにお問い合わせください。

多くの仲間が、あなたの電話をお待ちしております。

入会を希望の方、ちょっと聞いてみたい方も、お気軽にお電話ください。特に女性会員を大募集しております。

※重要※ 賃金一部改定のお知らせ

※宮城県の最低賃金が883円に昨年10月に改定されましたので、涌谷町シルバー人材センターでも一部4月より賃金の改定を予定しています。ご理解をお願い致します。

現在 **865円**(草取り・屋内片付け等) ➡ 令和5年 4月より **890円**に改定

お問い合わせ
お申し込みは
お電話で



公益社団法人

涌谷町シルバー人材センター
TEL 0229-44-1710

安全適正就労委員会からの報告

作業別安全・適正就業基準を元に、皆様の安全意識の高揚及びその遵守を目的に安全適正就労のペナルティ制度を導入し、実施しました。お陰様で緊急搬送等重篤事故はありませんでした。

パトロールを通じて安全管理の向上を！

シルバー人材センターでは、会員の皆さんの安全意識を高めてもらう為に、安全パトロールを実施しています。理事4名と安全就業適正委員8名で構成し、今年度は7月～11月の間で5回安全パトロールを実施しました。

この時期は、機械を使用する草刈り作業や高所作業のある剪定作業が多いので、これらを重点に実施しました。安全保護具の着用、適正な作業間隔、脚立の固定などを厳しくチェックしました。その結果は、事務所の掲示板に掲示しました。

これからも、安全安心を心がけて就業して下さい。



運転者技術講習会

令和4年12月6日、派遣で就業している運転者を対象に涌谷自動車学校を会場に実施しました。現在、涌谷町老人保健施設・デイサービス利用者送迎に6名の会員が就業しております。安全運転の徹底と運転技術の向上はもとより、今年は、「生涯無事故で」と題し、過去の死亡事故、物損



事故などの事例を挙げ、大場管理者から説明がありました。

安全運転の心得や運転技術の評価を受け、緊張した様子でしたが初心を忘れず利用者を乗せ安全運行することの大切さを再認識した講習会でした。

日曜日を除く毎日、4台のワゴン車で1日2回施設利用者を送迎する業務ですが、これからも安全運転に留意し、頑張ります。

事務局からのお知らせ

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

浅野 政義さん 9の3区 (西2班)
尾形 敏博さん 上郡1区 (東3班)
大和 武虎さん 11区 (西2班)

新会員紹介 (敬称略)

氏名	地区	氏名	地区
五十里信夫	9の2区	三塚 さき	9の2区
吉田 勝男	11区	大川 昌秋	猪岡区
米谷 広	小里区	遠藤 功記	10区
高橋じゅん	7区	達曾部義美	黄金区
熊谷 敏彦	下小塚区	その他3名	

編集後記

あけましておめでとうございます。シルバー会報「はつらつ第29号」に成りました。

◎「コロナ感染症も4年目に成り、「終息」という明るいニュースが入って来ません。

予防は、手洗い・うがい・人混みではマスク着用と密となる所をなるべく避ける！ですね。

◎ロシアの独裁者の暴走で世界中の生活が一変してしまいましたね。他人の家に入り込み強盗・殺人・住まい。国土の破壊！当事者になったら、たまったものでは有りません。一日も早く、普通の生活が訪れるように祈りましょう。

◎シルバー人材センターは、18年目に入ります。運営環境は決して順風では有りませんが、御客様の「信頼の実績」を昨年以上積み重ねるよう取り組んで参ります。令和5年度も昨年同様宜しくお願い致します。

編集長 大内敬四郎